

認知症治療の最新治療

認知症とともに暮らす社会に向けて(8)

千種区認知症地域連携の会
医療法人豊隆会 理事長 加藤 豊

現在我が国で認可された認知症治療薬は4種類あります。しかし、それらのお薬はいずれも認知症の進行を食い止めたり遅らせたりするのが精いっぱい、根本的に認知症を治したり認知症を予防したりする作用はありません。今回は世界の研究者が取り組んでいる最新の認知症治療としてワクチン療法をご紹介します。

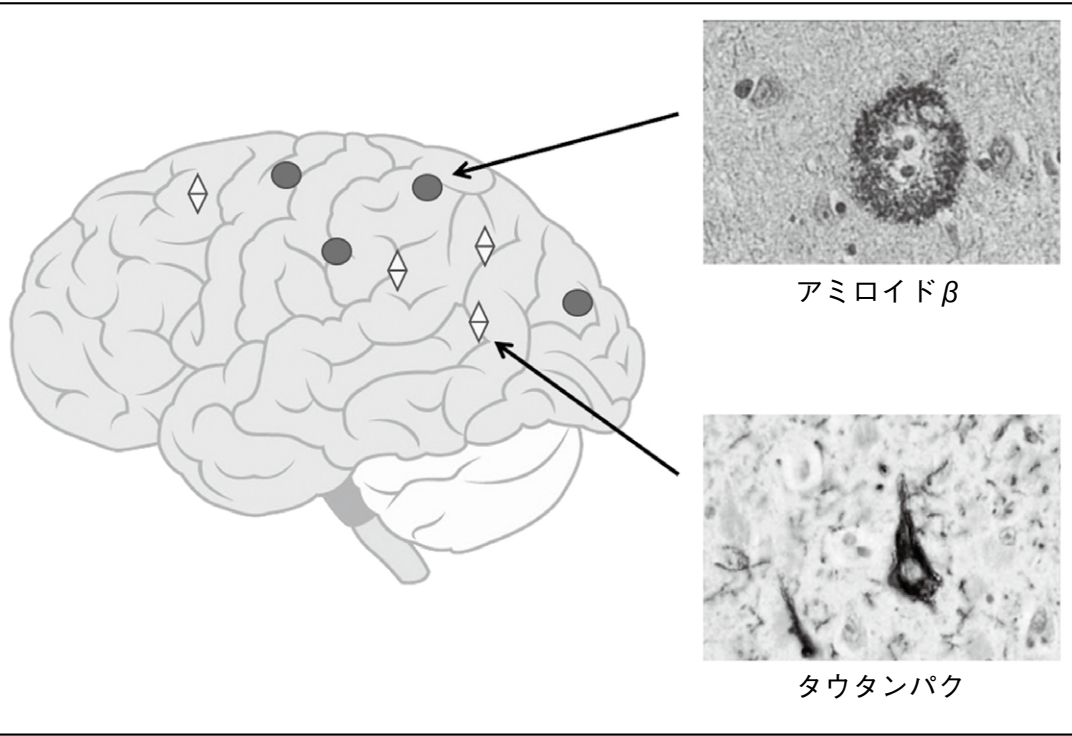
認知症の約半数を占めるアルツハイマー病は、いったんかかると平均8年から15年ほどで命を落とすと言われています。しかも病気の進行に伴って日常生活にいろいろな支障をきたすようになるため、介護の手間もかかります。アルツハイマー病の有病率は高齢になるにしたがって増えるため、高齢化社会の進展とともに今後膨大な医療費・介護費負担となって日本の社会にのしかかってくる可能性があります。

そのような中で、一番期待されているのがアルツハイマー病のワクチンです。ワクチンは量産されればセ

いざい数千円のお値段でアルツハイマー病になることを防ぐことができます。将来認知症になることを予防できれば、何百万円もの医療費や介護費を節約することが可能になります。そのため、かなり以前からアル

ツハイマー病の原因となるアミロイドβ(ベータ)に対するワクチンなどが開発されました。

アミロイドβは正常な人間にもみられる40個のアミノ酸からなるたんぱく質です。このたんぱく質は単体では無害ですが、複数のアミロイドβが集まるとオリゴマーという有毒な物質に変化します。さらにそれが脳に沈着すると低毒性の「老人斑」と呼ばれるシミになります。このアミロ



イドβの毒性によってアルツハイマー病の患者さんの脳細胞は死んでいくと考えられているため、アミロイドβの発生を防ぐワクチンや薬が開発されました。これらの薬はさっそく動物実験や治験に使用されましたが、残念ながら副作用が強く実用には至っていません。その中で一番やっかいな問題は自己免疫性脳炎と呼ばれる副作用です。

なぜワクチンによって脳炎が引き起こされてしまうのか、平成28年10月、順天堂大学と佐賀大学の共同研究チームによって明らかにされました。それによると老人斑となって毒性が低くなったアミロイドβにワクチンを使用すると老人斑が溶けてしまい、中から強毒性のオリゴマーが放出されてしまうようです。これらのオリゴマーによって脳炎が引き起こされるのでした。ワクチンにとって一番大切なのは副作用が起こらないことです。そのため、より副作用の少ないワクチンが現在でも世界中で研究されています。



名古屋市高齢者就業支援センター 講習受講者募集中!

◆実施している講習

2月募集(3月実施)

- 調理補助スタッフ養成講習
- サービス介助基礎検定講習
- 介護業界シニア就職フェア
- レッツ! シニアの調理
- パソコン/デジタル写真(基礎)

☆申込期間 2/1(木)~2/20(火)



3月募集(4月実施予定)

- 清掃講習
- レッツ! シニアの調理
- パソコン/入門

☆申込期間 3/1(木)~3/20(火)



高齢者の方を対象に、さまざまな講習を実施し高齢者の方の社会参加を支援しています! あなたも第二の人生、新たな生きがいを見つけてみませんか?

- その他にも月によってパソコン各種講習、就職支援講習などを行っています。
- ※各講習の詳細開催時期・対象者・受講料などは講習によって異なります。詳細についてはお問い合わせください。

「しごと相談コーナー」あります!

働く意欲のある55歳以上の方を対象に、職業紹介等の経験がある相談員が、相談者の状況や希望に応じてきめ細やかに就業相談を行っています!(職業紹介は行っていません。)

◎相談窓口(土日祝日除く9時~17時) Tel: 842-4692

◆名古屋市高齢者就業支援センター

(指定管理者:名古屋市シルバー人材センター)

〒466-0015 問合わせ先
昭和区御器所通3丁目12-1 (052)842-4691

◎ホームページもごさいます。アドレス: <http://www.bes-c.com/>

アクセス情報

地下鉄鶴舞線・桜通線「御器所」駅下車、②番出口を出て右手に40分、「御器所ステーションビル」4・5階

~平成30年度の講習について~

平成30年度(平成30年4月~平成31年3月)講習の開催予定は、4月下旬に発行される「平成30年度版 名古屋市高齢者就業支援センター」のパンフレットをご覧ください。各区役所、図書館、生涯学習センター等で配布する予定です。